

真冬に感じる春の気配… 早咲きのナノハナが、 3分咲きになりました。

冬～早春
の花暦
ご案内

1月20日に大寒を迎え、まだまだ厳しい寒さが続いています。
春の訪れを遠く感じるこの時期ですが、ひたち海浜公園の「スイセンの丘」では、早咲きのナノハナが3分咲きになりました。

昨年は4種類の早咲きのナノハナを植栽しましたが、今年はその中でも寒さに強かった2種類を選び、見頃が長く続くようにしています。早咲きのナノハナは、西口エリアの「スイセンの丘」が3分咲き、「泉の広場フラワーガーデン」で咲き始めました。その他にも、冬から早春にかけて咲く花々がありますので、併せてご案内いたします。



スイセンの丘 2013年1月17日撮影

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報宣伝チーム 青木・服部・和光

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

陽光を浴びて輝く黄金色の絨毯

ナノハナ アブラナ科一年草 原産地：南ヨーロッパ

アブラナ科の一年草で、原産地は南ヨーロッパです。花が咲いた後、中に1mm程の無数の種が入った細長い莢状の実を付けます。種は油分が多く、種を絞ると菜種油（なたねあぶら）が採れます。また、「菜の花」という名は“野菜の花”という意味から名付けられ、ほろ苦さと独特の香りがあり、サラダやあえ物などの食用になります。ナノハナの中でも花の部分を観賞したり、食用とするものを「ハナナ」と呼びます。

ひたち海浜公園のナノハナ

5か所のナノハナ畑があり、それぞれ違った趣をお楽しみいただけます。昨年は4品種の早咲きのナノハナを植栽しましたが、その中でも比較的早く咲き、寒さによる傷みが少なかった、「吉野の春」、「信濃の春」の2品種を選んで植栽しました。早咲きのナノハナは、「スイセンの丘」、「泉の広場フラワーガーデン」、「テラスハウス前」でご覧になれます。

■スイセンの丘（開花：12月下旬～4月上旬）

小高い丘が黄色に包まれた景色は心を和ませます。

- ・品種：吉野の春、信濃の春
- ・面積：約1,800 m²
- ・本数：82,000 本

■泉の広場フラワーガーデン（開花：12月下旬～4月上旬）

静かな南口エリアで、ゆっくりとひと足早い春を感じていただけます。

- ・品種：吉野の春、信濃の春
- ・面積：約900 m²
- ・本数：67,500 本

■テラスハウス前（開花：3月下旬～4月下旬）

- ・品種：吉野の春、信濃の春
- ・面積：約400 m²
- ・本数：18,000 本



スイセンの丘 2012年3月11日撮影



泉の広場フラワーガーデン 2012年1月8日撮影



テラスハウス前 2012年3月29日撮影



大草原フラワーガーデン 2012年5月1日撮影



みはらしの里 2012年5月12日撮影

■大草原フラワーガーデン（開花：3月下旬～4月下旬）

草丈60～80cm程の高さに咲き揃った黄色い絨毯は、サイクリングをしながらご覧いただくのがおすすめです。

- ・品種：MN-16
- ・面積：約6,000 m²
- ・本数：500,000 本

■みはらしの里（開花：4月中旬～5月中旬）

茅葺の古民家を背景に広がる菜の花畑は、昔懐かしい里の風景を再現しています。

- ・品種：セイヨウアブラナ、早陽1号
- ・面積：約8,000 m²
- ・本数：667,000 本

ひたち海浜公園 花暦 《冬～早春》

植物にとって厳しい生育環境となるこの季節ですが、寒空のもと、健気に咲く小さな花が園内に彩りを添えています。暖かくなるにつれて徐々に色数が増えていき、春の訪れを感じさせます。そんな冬から早春にかけて園内で見られる花をご紹介します。

◇ロウバイ(開花:12月下旬～1月下旬) 約 30 本

「みはらしの里」の入口でロウバイの花が咲いています。ロウバイとは、ロウバイ科ロウバイ属の落葉低木で、12月～1月にかけて黄色い花を咲かせます。近くによると甘い香りがしますので、香りも一緒にお楽しみください。



ロウバイ

◇クリスマスローズ(開花:2月中旬～5月上旬) 約 2700 本

冬の貴婦人とも呼ばれ、キンポウゲ科の花ですがクリスマスの頃にバラのような花を咲かせることから、この名がつけられました。「記念の森散策路」や「香りの谷」で10品種のクリスマスローズがご覧いただけます。



クリスマスローズ

◇ウメ(開花:2月下旬～4月上旬) 約 150 本

バラ科サクラ属の落葉小高木。早春告げる花として、古来より日本人に愛されてきました。花弁が5枚ある1～3cmほどの花を咲かせ、花色には白を始め、濃淡のさまざまなピンクや赤があります。「西口エリア周辺」に25品種約150本のウメが植栽されています。



ウメ

◇フクジュソウ(開花:1月上旬～3月下旬) 約 50 本

早春に黄金の花を咲かせることから、春を告げる花とも言われています。旧暦のお正月の頃に咲くため、おめでたい花とされ、『福寿草』と名づけられました。「記念の森散策路」でご覧いただけます。



フクジュソウ

◇早咲きスイセン“ラインベルト・アーリーセンセーション” (開花:2月下旬～3月中旬) 約 25,000 本

純黄色の大型ラッパスイセンで、早春のほかの品種がまだ芽をださないうちに開花する極早生種です。「スイセンの丘」の南西側斜面で、一面に咲き誇る姿をお楽しみいただけます。



ラインベルト・アーリーセンセーション

早春の記念の森散策路

上記の他にも、公園内の記念の森散策路では早春の訪れを感じさせてくれる植物として、ニリンソウ、ホトトギス、イカリソウ、ユキワリソウ、サクラソウの仲間などの花々がこれから楽しめます。ちょっとした散策をお楽しみください。



ユキワリソウ

記念の森散策路内にあるバードバスでは、野鳥の水浴びが見られます。



泉の広場フラワーガーデン 2013年1月12日撮影